

第8回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例)

問1 信州登山案内人条例及び、長野県登山安全条例上、信州登山案内人の役割・責務として誤りがあるものを2つ選びなさい。

- (ア) 登山者の安全確保に努め、登山者が遭難した時は、遭難者の捜索及び救助に協力すること。
- (イ) 登山の案内をするときに、「信州登山案内人登録証」を携行すること。
- (ウ) 登山等の案内に係る所定の料金を請求すること。
- (エ) 信州登山案内人の信用又は品位を傷つける行為をしないこと。

問2 信州登山案内人条例及び、長野県登山安全条例上、信州登山案内人の努力義務として誤りがあるものを2つ選びなさい。

- (ア) 登山を安全に楽しむための知識や技能の向上に努めること。
- (イ) 山岳の地理的・自然的特性を把握し、自然環境の保全を行うこと。
- (ウ) 登山の魅力伝えるため、歴史的・文化的な説明を行うこと。
- (エ) 登山の魅力伝えるため、登山等の案内を受けるよう強要し、良質なサービスの提供に努めること。

問3 長野県登山安全条例上、下線部分に誤りがあるものを2つ選びなさい。

- (ア) 登山者は、登山が常に遭難の危険を伴うものであること及び登山は自己の責任において実施するものであることを認識しなければならない。
- (イ) 山岳関係事業者は、県、市町村等と連携し、登山者に対して安全な登山に関する情報の提供に努めなければならない。
- (ウ) 山岳関係団体は、県、市町村等と連携し、登山者の登山に関する技術の向上の支援を行わなければならない。
- (エ) ツアー登山を実施する旅行業者は、当該ツアー登山に関する十分な知識、技術及び経験を有する信州登山案内人を同行させなければならない。

問4 長野県登山安全条例上、山岳（指定登山道）を登山するときに、遵守しなければならないことを2つ選びなさい。

- (ア) 遭難の未然防止のため、あらかじめ山岳の特性を知り、周到な準備をすること。
- (イ) 遭難したときの捜索又は救助の費用に対する保険金が支払われる山岳保険に必ず加入すること。
- (ウ) あらかじめ登山計画を作成し、登山計画書を届け出ること。
- (エ) 季節及び気象状況に応じた服装を用い、必要最低限の装備品を携行すること。

問5 信州登山案内人条例、長野県登山安全条例が制定された目的としてあてはまるものを2つ選びなさい。

- (ア) 長野県の観光振興に寄与するため。
- (イ) 信州登山案内人等の登山ガイドを養成するため。
- (ウ) 登山等を行う者に対し、長野県の山岳に関する理解を得るため。
- (エ) 登山の安全に関して、長野県及び登山者等の責務を明らかにするため。

(自然公園)

問6 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 自然公園法の目的は、を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする。
(ア) 優れた自然環境 (イ) 優れた自然の風景地 (ウ) 希少な地形 (エ) 希少な動植物
2. 国立公園は、環境大臣が関係都道府県及び、の意見を聞き、区域を定めて指定する。
国定公園は、環境大臣が関係都道府県の申出により、の意見を聴き、区域を定めて指定する。
(※②は同じ解答)
(ア) 国民 (イ) 関係市町村 (ウ) 関係省庁 (エ) 中央環境審議会
3. 中部山岳国立公園は、県にまたがる北アルプス山域を指定したわが国を代表する山岳公園で、昭和9年(1934年)12月4日に大雪山国立公園、阿寒国立公園、日光国立公園、阿蘇国立公園(現・阿蘇くじゅう国立公園)とともに指定された。
(ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 5
4. 公園は、火山性台地が起伏して連なっており、乾性の台上高原である美ヶ原高原がある一方で、霧ヶ峰高原には国の天然記念物に指定されている霧ヶ峰湿原植物群落がある。
(ア) 秩父多摩甲斐国立 (イ) 八ヶ岳中信高原国定
(ウ) 塩嶺王城県立自然 (エ) 聖山高原県立自然
5. 長野県内の自然公園は、国立公園が5地域、国定公園が3地域、県立自然公園が地域である。
(ア) 4 (イ) 5 (ウ) 6 (エ) 7
6. 公園利用者の指導や自然保護思想の普及啓発のため、長野県が委嘱する等によるボランティア活動が行われている。
(ア) アクティブレンジャー (イ) 自然公園指導員
(ウ) グリーンサポートスタッフ (エ) 自然保護レンジャー

問7 自然公園の特別地域(特別保護地区を除く)で、許可が必要な行為について、あてはまるものを2つ選びなさい。

- (ア) 火入れ又はたき火をすること。
- (イ) 木竹以外の植物について落葉若しくは落枝を採取すること。
- (ウ) 土地を開墾しその他土地の形状を変更すること。
- (エ) 屋根、壁面、塀、橋、鉄塔、送水管その他これらに類するものの色彩を変更すること。

問8 自然公園法において、利用のための規制として、国立公園又は国定公園の特別地域、海域公園地区又は集団施設地区内で何人も、みだりにしてはならない行為として具体的に明記されている行為について、あてはまるものを2つ選びなさい。

- (ア) 著しく悪臭を発生させること。
- (イ) 展望所、休憩所等をほしいままに占拠すること。
- (ウ) 野生動物に餌を与えること。
- (エ) むやみに外来種を持ち込むこと。

(読図)

問9 次の地図記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。

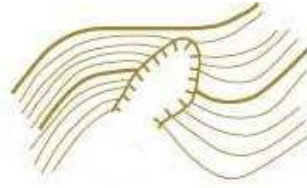
①



②



③



問10 次の文中①～⑦にあてはまる用語を記入しなさい。

- コンパスの赤針が北を向くのは、 が大きな磁石になっているからである。コンパスの赤針が示す北のことを という。本州付近ではコンパスは真北から6～8度、 に傾いた方向を示す。
- とは「ピークから谷に向けて延びる、周囲より高くなったひと続きのライン」と定義できる。また「ピークとピーク」をつなぐものを と呼ぶ。
- ピークがふたつ並べば、その間には必ず低くなったところがある。そこが である。
- 尾根と尾根に挟まれて低くなったところを という。

※設問1～4 出典：平塚昌人 著「山岳地形と読図」山と溪谷社

(植物、植生)

問11 次の文中①～④にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

- とは、意図的・非意図的を問わず人為的に移動させた結果、その自然分布域の外で生育・生息する生物種のことである。
(ア) 絶滅危惧種 (イ) 天然記念物 (ウ) 高山植物 (エ) 外来種 (外来生物)
- 登山者の靴の裏や衣服、荷物などに付着した、域外の生物やそれらの種子などが、脆弱な生態系を有する高山地域に持ち込まれないような配慮が求められる。例えば の設置は、近年は複数の地域で行われている。
(ア) 環境配慮型山岳トイレ (イ) 種子落としマット
(ウ) 避難施設 (エ) ビジターセンター
- などの特定外来生物が、保護地域等に侵入・定着しないように監視する必要がある。
(ア) オニシモツケ (イ) コバイケイソウ
(ウ) オオハンゴンソウ (エ) アキノキリンソウ
- 日本の高山植物に占める固有種の割合は、日本全体の植物に占める固有種の割合に比べて 。
(ア) かなり高い (イ) あまり差が見られない (ウ) かなり低い

問12 次の文中①～⑥にあてはまる用語を記入しなさい。

- 長野県では県内の希少な野生動植物の保護対策を推進するため、長野県希少野生動植物保護条例で指定希少野生動植物を指定している。高山植物のうち、本州では飛騨山脈と八ヶ岳のみに分布する や木曾山脈にのみ分布する は、本条例の特別指定希少野生動植物となっている。

2. 標高が上がるにつれて徐々に植生が変化することを、植生の 分布という。
3. 長野県では標高およそ 2,500m 付近が亜高山帯の森林の分布上限となっており、その上限のことを という。
4. 高山の稜線や山頂付近では強い風の影響により、ハイマツや他の樹木が生育できない環境が生じ、そこに多くの高山植物が生育する。この現象を という。
5. 本州では八ヶ岳と飛騨山脈北部の高山帯のみに遠隔分布しているオオバコ科の多年草で、千島列島ではハマレンゲと呼ばれている高山植物は、 である。

(動物(鳥類、昆虫類含む))

問 13 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

ライチョウは最も寒冷な気候に適応し、北半球の北極圏やその周辺を中心に広く分布する鳥類であり、日本やヨーロッパのアルプス、ピレネー山脈にも生息している。かれらは寒冷な時期に南下して移り住み、その後の温暖化で高山に取り残された とされている。

ライチョウは高山植生に強く依存した生活をおくっており、春、オスは背の低い がパッチ状に分布し、その周りに などツツジ科のわい性低木が優占する風衝地などになわばりをつくる。

ライチョウは主に一夫一妻で、抱卵はメスが行い、卵が孵化すると、オスはなわばりを解消する。子育ては がおこない、 は関与しない。

ライチョウは本州の中部山岳に生息するが、北海道には生息しない。北海道には、ライチョウの間では森林性の が生息している。北海道と本州とでは、海峡が地理的障壁となって、大きく生物相が異なっており、この生物地理学的境界線を 線と呼ぶ。北海道には北方系の動物相が見られるのに対し、本州以南には南方系の動物相が分布している。代表的な近縁種としては、北海道には が分布し、本州には が分布する。、カモシカなどは本州以南に分布する。

- (ア) ガンコウラン (イ) 外来種 (ウ) ニホンザル (エ) ハイマツ (オ) ヒグマ
 (カ) オス (キ) 渡瀬 (ク) エゾライチョウ (ケ) メス (コ) ナキウサギ
 (サ) ツキノワグマ (シ) 氷河期の遺存種 (ス) コジュケイ (セ) ブラキストン

(気象、天気図)

問 14 次の説明文にあてはまる気象現象等を記入しなさい。

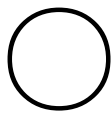
1. 主に夏に起きる雷で、強い日差しが地面を暖め、湿った空気が上昇することで積乱雲が発生し、その中で起こる雷。
2. 5月下旬から7月下旬に日本付近でオホーツク海気団と小笠原気団の間にできる停滞前線。
3. 冬から春にかけて太平洋側に大雪をもたらす低気圧の名称。
4. 気温が低く、古い積雪の上に新たに雪が降り積もった時に、この新雪部分が滑り落ちる現象。
5. 視界内が真白に見えて、雲と雪面の区別がつかなくなる現象。
6. 地球に注ぐ太陽光のうち、波長が 400 から 100 ナノメートルの領域の光。
7. 熱帯域で発生する低気圧である熱帯低気圧の中心付近の最大風速が、おおよそ 17m/s 以上になったもの。

問 15 次の天気記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。

①



②



③



(登山の常識)

問 16 長野県山岳遭難統計について、あてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 平成 30 年の長野県における遭難者の居住地別発生状況で、遭難者が最も多かった都道府県は である。

(ア) 愛知県 (イ) 東京都 (ウ) 大阪府 (エ) 長野県

2. 長野県で平成 30 年に発生した山岳遭難のうち、携帯電話による遭難の届出はおよそ であり、その割合は増加傾向にある。

(ア) 6割 (イ) 7割 (ウ) 8割 (エ) 9割

3. 平成 30 年の長野県の山岳遭難における年代別発生状況で、1 番多い年代は である。

(ア) 40 歳代 (イ) 50 歳代 (ウ) 60 歳代 (エ) 70 歳代以上

問 17 次の気象庁からの引用文中の①～③にあてはまる用語を記入しなさい。

2003 (平成 15) 年に火山噴火予知連絡会は「概ね過去 以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義し直した。当初、活火山の数は 108 であったが、2011 (平成 23) 年及び 2017 (平成 29) 年に新たに選定され、活火山の数は現在 となっている。

この活火山のうち、「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として火山噴火予知連絡会によって選定された 50 火山については、噴火の前兆を捉えて噴火警報等を適確に発表するために、地震計、傾斜計、空振計、GNSS 観測装置、監視カメラ等の火山観測施設を整備し、関係機関 (大学等研究機関や自治体・防災機関等) からのデータ提供も受け、火山活動を 24 時間体制で常時観測・監視している。このような火山を と呼ぶ。

※問 17 出典：気象庁ホームページ

問 18 長野県登山安全条例に根拠を持つ、ガイドラインに関する次の説明文のうち、正しいものを 4 つ選びなさい。

- (ア) 登山はスポーツであるという認識を持つこと。
- (イ) 登山道でのすれ違いは、急いでいる人を優先すること。
- (ウ) パーティ登山はできるだけ避けて、単独で登山することが望ましい。
- (エ) 長野県内の指定登山道を登山する場合は、登山計画書を警察へ必ず届け出ること。
- (オ) 山域によっては、ヘルメットを用意することが望ましい。
- (カ) 対向者に道を譲る場合は、対面して山側で待機すること。
- (キ) 山小屋には遅くとも消灯前に到着すること。
- (ク) 道迷いかなと思ったら、確認できる地点まで引き返すこと。

(セルフレスキュー)

問 19 次の文中の①～⑩にあてはまる用語を記入しなさい。

1. (この問題は著作権の問題により公表できません)
2. 高山病は高い山に登ったときに起きる身体の不調で、一般に標高 2,400m 以上で発症する。症状は主なものが ③ で、重篤な場合は死亡することもある。高山病の原因は高所特有の ④ 不足、⑤ と寒さである。
予防法としては、登山中 ⑥ 高度を上げていくこと、⑦ を多めに摂取すること等である。

※設問 2 出典：野口いづみ 著「山の病気とケガ」山と溪谷社

3. (この問題は著作権の問題により公表できません)